

平成 26 年 9 月議会一般質問

地下水取水規制

霧島の水道水は100%、湧水、地下水であると誇らしげに広報されている。これをどのように守ってゆくかの方策は示されていない。6月議会で『地下水は河川のような公共物ではなく、土地の所有者が自由に井戸を掘り採水することが許される』、『調査研究をし、必要とあらば、条例制定などの対応の勉強をする。』、『国の動きを見ながら、規制が必要であれば、検討して行きたい。』との答弁があった。

国交省は公共の利益を優先する目的で①地盤沈下防止、②地下水保全、③水道水源保全の地下水採取規制条例の制定を推奨し、地下水は公共物であるとの方向性を明快に示している。近年外国資本が日本の水資源確保を目的として日本の土地を取得する動きがあり、無秩序な地下水の利用に歯止めを掛ける動きが全国的に行われている。霧島市でも現実に中国資本が広大な土地取得を行っている。

**質問：**霧島木質燃料が一日1000トン取水することの影響を調査する予算が計上された。この予算の執行状況、および霧島木質燃料の地下水採取について伺う。

- ・地下水脈調査の状況？
- ・この1000トンは上限か？
- ・1000トンの取水をどのように確認するのか？
- ・取水量の報告を求めるか？

**答弁：**霧島木質燃料株式会社は、本年の7月末に当該事業の井戸の掘削を終え、その後、連続揚水試験も行った。同時期における重久配水池の配水量に変化はなく、関係する水源地の取水にも支障がなかったことから水脈調査は行っていない。今後、事業開始に向けた試運転等も行われると思うので、必要な情報を収集し、状況をさらに注視して対応したい。取水量の上限については、ポンプの取水可能量が1日最大1,000トン前後と聞いている。なお、現段階では取水量の確認及び報告は求めない。

**質問：**霧島市の基幹産業である主な7つの焼酎蔵の皆様から汲み上げている地下水の量、質の変動は製造している焼酎の品質に大きな影響があり、死活問題であるとの訴えを受けた。焼酎蔵の盛衰はその原料であるさつまいもの生産農家にも大きな影響を与える。この事情をお伝えした上で答弁を求める。霧島市として地下水取水規制についてどのように考えているか、検討の進捗状況、および近隣自治体の地下水採取規制条例の制定状況、その内容を伺う。

**答弁：**近年、我が国においても地球温暖化に伴う気候変動等の様々な要因が水循環に変化を生じさせ、それに伴い、渇水、洪水、水質汚濁、生態系への影響等様々な問題が顕著となってきている。このような状況に鑑み、本年3月に「水循環基本法」が成立し、地下水を含む水が、「国民共有の貴重な財産であり、公共性の高いもの」と初めて法的に位置付けられることになり、国、地方公共団体及び事業者並びに国民の責務が明確にされた。一方、地方自治体においても、本年7月24日に、長野県佐久市を中心とした全国149団体による、水資源の保全に関する関係者間の情報共有を目的とした「水資源保全全国自治体連絡会」が設立され、霧島市も同会の会員となっていることから私自身も出席した。同会では、自治体が水資源を保全するために必要な実態調査等について、国が全国統一の指針を策定することや調査に要する費用等の財政支援制度を創設することなどを、同日付けで国に要請した。霧島市としては、水循環基本法に基づき、国により今後、策定されることになっている水循環基本計画の内容等を見極めながら適切に対応する。

**追加質問**

**質問：**焼酎産業、サツマイモ生産農家、地下水の3者が噛み合って焼酎は作られ、霧島市の産業の一翼を担っている。これらの関係の見解を問う。

**答弁：**合併当時8蔵、200銘柄の焼酎が存在していた。霧島市にとって重要な産業であり、集積が大きいと思う。おいしい焼酎はおいしい豊富な地下水によって出来ていると確信する。地下水の保全、利活用の大事さについて強く認識している。よってこのような認識から水循環に関する法律が出来た。長野県の佐久市の呼びかけで良いタイミングだと言うことで、市長としても地下水の保全、利活用の有り方を探る意味で、この会合に参加した。質問の内容を含めた、霧島の地下水の大事さに対してどのような形で全国レベルに負けない、霧島市のあり方を国に照らしたり、情報交換をしたりして質問に対する答えを出す。

**質問：**近隣市町村の地下水規制状況は？

**答弁：**県内では6市5町が地下水規制条例を持っている。近隣では都城市、小林市、湧水町、高原町が条例を定めている。水資源を保全するために地下水採取の際、届出等を要するとか、採水量をあらかじめ届出が必要とか細かい内容が定められている。

**質問：**近隣の条例制定状況は承知しているとのことである。霧島市での条例制定の際は参考にするか？

**答弁：**霧島市としての実情はあるが、近隣の情報は参考にする。